

平成30年度大宮東高等学校文化祭出展

森嶋 修

平成30年9月8日（土）に開催された大宮東高等学校の文化祭（青龍祭）において、体脂肪・筋肉量の測定会を実施した。この測定会は、昨年度から取り組ませていただいている活動であり、今回で2年連続2回目の出展となった。今年度は小林幸次講師と学生アシスタント3名に協力していただき、計5名がスタッフとして測定会に参加した。

昨年度と同様に測定会の準備として、測定会のチラシを持参した。このチラシは文化祭の入り口において来場者への配布を依頼した。また、大学パンフレットとプロジェクターも測定会会場へ搬入し、測定会の待ち時間に大学の広報活動を行えるように準備をした。さらに今年度の新たな準備として、大宮東高校出身の学生2名をアシスタントとして協力を依頼した。この2名の学生に帯同してもらったことにより、高校の先生から大変喜んでいただくことができた。また、後輩にも先輩として活躍している姿を見せる機会となったため、本学のイメージアップにもつながる結果となった。これらの準備が実り、今年度も100名を超える方々が訪れ、大盛況であった。

各スタッフの担当は、アシスタント学生が受付と身長測定、データ入力を担当し、私がInbody

の操作と測定準備、小林講師から測定結果シートの見方や測定結果に対するフィードバックを行った。Inbodyは昨年度の測定会で使用した機材と同じものを持ち込むことができたため、昨年度の測定会に参加いただいた方は、前回の測定結果も踏まえながら今回の結果をフィードバックすることができた。従って、昨年度よりも質の高いフィードバックを行うことができたと考えられる。このような縦断的な取り組みは、継続して測定会を開催しているからこそ取り組みであり、今後も継続して実施していくことでより良い活動になることが期待されるだろう。

測定会自体は滞りなく実施され、大きな問題もなく無事に終えることができた。今後の課題としては、待ち時間が長く最大30分にも及んでしまう時間帯もあった。今後どの様に100名を超える参加者の測定を実施していくかが課題となるが、今回のスタッフ数では精一杯であった。しかし、今後も大宮東高校と連携した活動を積極的に行っていくことは双方にとって良い機会であるため、今後も多くのアイデアを提供していけるように準備していきたい。

この活動は、平成30年度平成国際大学共同研究費をもとに実施されました。

